

住むならどこに？暮らしのおすすめガイドを作ろう！ (さまざまな土地の暮らし)

本単元で育成する資質・能力

「探究力」「思考力・判断力・表現力」「本質を志向する価値観」

※なお、本校では、資質・能力を児童及び教諭間で共有するために、「探究力」を「自分事への問い追究力」、「思考力・判断力・表現力」を「かんがえ力」、「本質を志向する価値観」を「するどい目」という名称を用いている。

1 日 時 平成 29 年 6 月 7 日 (水)

2 学 年 第 5 学年 22 名

3 単元観

(1) 学習指導要領に示された本単元にかかわる内容

学習指導要領 5年2(1)

我が国の国土の自然などの様子について、次のことを地図や地球儀、資料などを活用して調べ、国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを考えるようにする。

イ 国土の地形や気候の概要、自然条件から見て特色ある地域の人々の生活

(2) 教科の本質（社会的な見方・考え方「社会的事象を多面的に判断する力」）に着目した本単元と前後の単元のつながり

○ 前単元 5年「日本の国土と人々の暮らし」

・世界の主な大陸と海洋、主な国の名称と位置、我が国の位置と領土、国土の地形や気候の概要について、人々が国土の自然環境に適応しながら生活や産業を営んでいることを考え、適切に表現することができる。

○ 本単元 5年「さまざまな土地の暮らし」

【本質的な問い】地域の人々の暮らしや産業は、その地域の気候や地形とどのように関係しているのか。

・国土の自然環境に適応しながら生活している人々の様子について、人々が国土の環境に適応しながら生活や産業を営んでいることを考え、適切に表現することができる。

○ 次単元 5年「国土の環境を守る」

・身の回りの環境問題や公害、国土の保全などのための森林資源の働き及び自然災害の防止について学習問題を見出し、国土の環境を守り、国民の健康な生活を維持・発展させていくための人々の働きについて考え、調べたことや考えたことを適切に表現することができる。

(3) 本単元について

本単元では、自分たちの住む地域と沖縄県や北海道の気候の特色を比較することを通して、気候に合わせた暮らしや気候を生かした産業を行っていることがわかるようにする。また、岐阜県海津市の学習では、資料を関連させて読み取ることで、人々が水害と向き合い、暮らしや農業などでさまざまな工夫をしていたことがわかるようにすることをねらいとしている。

4 児童観

省略する

資質能力	質問紙調査内容・レディネステスト	結果（人数）			
		とても そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない
自分事 の問い 追究力	授業では、解決しようとする課題について「たぶんこうではないか。」「こうすればできるのではないか。」と予想しています。				
自分事 の問い 追究力	授業では、課題を解決するために、進んで資料を集めたり取材をしたりしています。				
するど い目	振り返りをする時、「結局〇〇ってこういうことだな。」と単元の学びを全て結びつけて考えたり、総合の学習を通して、「生きることってこういうことが大切なのかな。」と考えたりしています。				
かんが え力	授業では、情報を比べたり（比較）、仲間分けしたり（分類）関係を見付けたり（関係付け）して何が分かるのかを考えています。				

5 指導観

指導にあたっては、以下の工夫を行う。

(1) 自分事の問いの追究(主体的な学びの視点)

児童の学びを自分事にさせるために、「住むならどこに？暮らしのおすすめガイドを作ろう！」という目的を設定した。旅行ではなく、移住を考えている人がおり、その人が沖縄県と岐阜県（海津市）と北海道の3つの移住先を選ぶ際に、暮らしやすくするための工夫や努力、その土地で暮らす楽しみなどを見出し、納得して選ぶことができるように、暮らしのおすすめガイド作りをさせるという設定をする。そのことを通して、それぞれの地域の特色ある気候や産業、暮らしの工夫などを比較して考えることができたり、その地域で暮らす人々の立場にたって、良さなどを考えたりすることができるように考える。

(2) 学び合い(対話的な学びの視点)

資料に対して、予想をさせる。予想を話し合わせることで、学習課題に向かわせていきたい。また、関わり発言を奨励するとともに、理由や根拠を明確にして自分の考えを述べるようにしていく。既習の資料を根拠にした児童や神石高原町の暮らしと比較して考えた児童を評価し、価値づけることで、自分たちの暮らしや既習の地域の暮らしと比較して考えることができるようにする。

(3) 深い学びを分かりやすく(深い学びの視点)

資料の提示を通して、児童がどうしてかと疑問に思ったり、考えなくなったりするように仕向けていきたい。また、そのことがどうして言えるか、どこから言えるかということ大切に、気温やくらしごよみ、土地の様子や地図などの資料を根拠にして考えをもつことができるようにする。そのような経験を通して、資料を関連付けて読み取ったり、考えたりすることができるようにしていきたい。また、北海道についても、暮らしや観光、農業などの観点をあげて多面的に比較し、特色ある気候と関連付けて考えることができるようにしていきたい。

6 本単元で設定した目標

観点	目標
【資質・能力】 自分事の問題追究力	・既習や自分の予想との相違点や共通点を見出し、既習から新たな自分の問いを見付けることができる。
【資質・能力】 するどい目 社会的な事象への関心・意欲・態度	・国土の地形や気候の概要、自然条件から見て特色ある地域の人々の生活に関心を持ち、意欲的に調べようとする。
【資質・能力】 かんがえ力 社会的な思考・判断・表現	・国土の地形や気候の概要、自然条件から見て特色ある地域の人々の生活について、学習問題や予想、学習計画を考え表現することができる。 ・自然条件や人々の生活、産業などを相互に関連付けて、国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを考え適切に表現することができる。
観察・資料活用 の技能	・地図やその他の資料などを活用して、我が国の国土の自然などの様子について必要な情報を集め、読み取ることができる。 ・調べたことを作品などにまとめることができる。
社会的な事象について の知識・理解	・国土の地形や気候の概要、自然条件から見て特色ある地域の人々の生活を理解する。 ・国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを理解する。

7 本単元で設定した評価規準

観点	評価規準
【資質・能力】 自分事の問題追究力	・既習や自分の予想との相違点や共通点を見出し、既習から新たな自分の問いを見付けている。
【資質・能力】 するどい目 社会的な事象への関心・意欲・態度	・国土の地形や気候の概要、自然条件から見て特色ある地域の人々の生活に関心を持ち、意欲的に調べている。
【資質・能力】 かんがえ力 社会的な思考・判断・表現	・国土の地形や気候の概要、自然条件から見て特色ある地域の人々の生活について、学習問題や予想、学習計画を考え表現できている。 ・自然条件や人々の生活、産業などを相互に関連付けて、国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを考え適切に表現できている。
観察・資料活用 の技能	・地図やその他の資料などを活用して、我が国の国土の自然などの様子について必要な情報を集め、読み取っている。 ・調べたことを作品などにまとめている。
社会的な事象について の知識・理解	・国土の地形や気候の概要、自然条件から見て特色ある地域の人々の生活を理解している。 ・国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを理解している。

8 指導と評価の計画 (全 13 時間)

時	○学習活動・◆内容	評 価					
		資	関	思	技	知	評価規準 (評価方法)
1	<p>○4つの地域について私たちの住んでいる地域とどのような違いがあるか話し合う。</p> <p>○「住むならどこに？暮らしのおすすめガイドを作ろう！」をつくることを確認する。</p> <p>◆沖縄と北海道の気候の違い、婦恋村と海津市の土地の様子の違いに気付かせる。</p> <p>○自分たちの住んでいる地域と比べ、服装、住まい、産業などの違いを予想する。</p>	◎	◎				<p>するどい目</p> <p>・日本各地の気候や地形の違いと暮らしについて関心をもち、意欲的に調べようとしている。(行動観察・ノート)</p> <p>自分事の問い追究力</p> <p>・自分たちの住んでいる地域との違いを予想している。(振り返り)</p>
2	<p>○沖縄の気候や暮らしは、自分たちの地域とどのようにちがうのかを調べ、考える。</p> <p>◆地図帳を用いて、本州と沖縄県の位置関係を理解させる。</p> <p>◆気温や降水量の資料から、沖縄県の温暖な気候や台風が非常に多いことを理解させる。</p> <p>◆沖縄県の気候が人々の暮らしに与える影響について考えさせる。</p> <p>○沖縄県の人々の暮らしについてどんなことを調べたいかの考えをもつ。</p>				◎		<p>・地図やグラフなどをもとに沖縄県の位置や気候の特色について、自分たちが住んでいる地域と比較して読み取っている。(発言・ノート)</p> <p>自分事の問い追究力</p> <p>・沖縄県について調べてみたいことについての考えをもっている。(振り返り)</p>
3	<p>○沖縄県の家づくりの特徴について調べ、気候との関係について話し合う。</p> <p>○沖縄県の気候に合わせた暮らしの工夫についておすすめガイドにまとめる。</p> <p>◆沖縄県の伝統的な家づくりをとらえさせる。</p> <p>◆沖縄県の家づくりと気候との関係を理解させる。</p> <p>◆水不足に対する備えの工夫について理解させる。</p>	◎		◎			<p>かんがえ力</p> <p>・台風や暑さに備えた家づくりや水不足に対する備えなど、沖縄県の人々が気候に合わせて工夫してくらしていることを考え、適切に表現している。(発言・ノート)</p>
4	<p>○沖縄県では、どんな農業をしているのかを調べ、考える。</p> <p>○沖縄県の気候を生かした農業についておすすめガイドにまとめる。</p> <p>◆沖縄県の農作物について理解させる。</p> <p>◆沖縄県のさとうきび作りやきく作りの特徴を調べさせる。</p> <p>◆さとうきび作りやきく作りが気候条件や地形条件と深く結びついていることに気付かせる。</p> <p>◆さとうきび作りときく作りの問題点について話し合わせる。</p>				◎		<p>・沖縄県では、暖かい気候を利用して、さまざまな農産物が作られていることを理解している。(発言・ノート)</p>
5	<p>○沖縄県にはどうしてたくさんの方が訪れるのかを話し合う。</p> <p>○沖縄県の気候を利用した観光についておすすめガイドにまとめる。</p> <p>◆沖縄県の魅力について調べ、多くの観光客が訪れる理由を話し合わせる。</p> <p>◆観光産業の発展が引き起こしている問題にも目を向けさせる。</p>	◎		◎			<p>かんがえ力</p> <p>・自然や気候、文化、歴史などが沖縄県の魅力になっていることや、それらが観光客の多さと密接な関連をもっていることを考え、適切に表現している(発言・ノート)</p>
6	<p>○海津市の土地はどのような様子なのか調べ、考</p>				◎		<p>・写真や地図などの資料から、どのよう</p>

	<p>える。</p> <p>◆輪中と堤防の役割を理解させる。</p> <p>○川の水面より低い土地に住む人々の暮らしについて予想をする。</p>	○				<p>に輪中ができたのかや、輪中が川よりも低い土地であること、人々が洲を堤防で囲んだことなどを資料を関連付けて読み取っている。(発言・ノート)</p> <p>自分事の問い追究力</p> <p>・輪中に暮らす人々の工夫について予想している。(ノート)</p>
7	<p>○輪中に住む人々は、どのようにして水害から暮らしを守っていたのか調べる。</p> <p>○海津市の地形に合わせた暮らしの工夫についておすすめガイドにまとめる。</p> <p>◆水害の被害を減らすために治水工事を行い、水屋などの様々な工夫と知恵を生み出したことをとらえさせる。</p>			◎		<p>・グラフや表、写真から、輪中地帯での長年にわたる治水工事によって洪水の発生回数が減ったことや水屋などの建物に水害から暮らしを守るための工夫があることを読み取っている。(発言・ノート)</p>
8	<p>○堤防の中の田はどんな様子だったのか調べる。</p> <p>○海津市の地形を生かした農業についておすすめガイドにまとめる。</p> <p>◆輪中での農業の昔と今の違いをとらえさせる。</p> <p>◆排水機場の建設により、水を調整・利用できるようになったことを理解させる。</p>			◎		<p>・輪中地帯での農業では、堀田などの工夫をし、大変な苦労があったこと、現在は、土地の改良工事や排水機場などによって安心して農業ができるようになったことを理解している。(発言・ノート)</p>
9	<p>○水害に対して、今、どんな備えをしているのか考える。</p> <p>○海津市の地形を利用した観光についておすすめガイドにまとめる。</p> <p>◆水害から暮らしを守る取組が徹底して行われているわけについて自分なりの考えをもたせる。</p>			◎		<p>・現在も水害に備えて、水防訓練や水防倉庫の点検を行い、国や県も川の水位の監視を行うとともに、輪中地帯が水や自然とふれあう場所になっていることを理解している。(発言・ノート)</p>
10 本時 / 11	<p>○「住むならどこに？暮らしのおすすめガイドを作ろう！」をつくり、自分の考えを書く。</p> <p>北海道の暮らしのおすすめガイドをつくる。</p> <p>◆学習内容を想起させる。</p>	◎		◎		<p>かんがえ力</p> <p>・地域の特色ある気候と産業、暮らしの工夫などを関連付けて考え、表現している。(発言・ノート)</p>
12	<p>○作成した暮らしのおすすめガイドをもとに、3つの地域についてどこがおすすめかを話し合う。</p>	◎	◎			<p>するどい目</p> <p>・気候や地形を考えた工夫や努力に気付く、良さを話すことができている。(発言)</p>
13	<p>○テストに取り組む</p> <p>◆学習内容の理解度を自己評価させる。</p>			◎		<p>・自然条件や人々の生活、産業などを相互に関連付けて、国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを考え適切に表現することができている。(テスト)</p> <p>・地図や地球儀、その他の資料などを活用して、我が国の国土の自然などの様子について必要な情報を集め、読み取ることができている。(テスト)</p> <p>◎</p> <p>・国土の地形や気候の概要、自然条件から見て特色ある地域の人々の生活を理解している。(テスト)</p> <p>・国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを理解している。(テスト)</p>

9 パフォーマンス課題

「住むならどこに？暮らしのおすすめガイドを作ろう！」

移住をし、専業農家として今後その土地で一生暮らしていこうと考えている人がいます。場所の候補として、沖縄県と岐阜県（海津市）と北海道を考えています。

その人が3つの場所の中から納得して移住する場所を選ぶことができるように、気候や地形と暮らし、観光、農業の点から、ガイドを作っておすすめしましょう。

ただし、おすすめガイドの紙面に限りがあるので、暮らし、観光、農業それぞれ2つまでを書いておすすめしましょう。

10 パフォーマンスの評価基準（ICEルーブリック）

	I（単なる知識の羅列）	C（関連付けられた知識）	E（多面的な評価）
評価基準	教科書や資料集の知識の羅列にとどまっている。	気候や地形と暮らし、観光、農業を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりしながら書いている。	気候や地形と暮らし、観光、農業を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりするとともに、それぞれの地域の工夫や努力まで書いている。
児童用評価基準	それぞれの地域の気候や地形と暮らし、観光、農業が書けている。しかし、それらが関連し合っていることが書けていない。	それぞれの地域の気候や地形と暮らし、観光、農業が書けている。また、その地域の気候や地形と暮らし、観光、農業の関係を書くことができている。	さらに、その地域で生活している人々が特色ある気候や地形を生かして工夫したり、努力したりしていることを書くことができている。
反応例	北海道をおすすめします。 冬まつりというイベントがおもしろいです。	北海道をおすすめします。 神石高原町も零度以下になるときもあり、雪も降りますが、北海道は平均が-10度なので、かなり寒いことが分かります。 そのため雪が多く、スキーやスケートなどを楽しむことができます。	北海道をおすすめします。 神石高原町も零度以下になるときもあり、雪も降りますが、北海道は平均が-10度なので、かなり寒いことが分かります。 そのため雪が多く、スキーやスケートなどを楽しむことができます。 また、除雪した雪を使った雪像が飾られる冬まつりというイベントを行ったり、寒い地域で暮らす動物のたくさんいる旭山動物園があつたりするなど、雪や寒さを生かした工夫があり、とても人気です。

9 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・寒さが厳しい、広大な土地であるという北海道の気候や地形の特徴と人々の暮らしや産業を調べ、人々が自然環境に適応しながら生活し、自然環境を生かした産業を営んでいることを関連付けて考え、暮らしのおすすめガイドを作ることができる。

(2) 準備物 雨温図 地図 短冊カード マジック(黒)

(3) 学習の展開

学習活動	主な発問と児童の反応予想	指導上の留意点 ☆児童への支援	評価基準 (評価方法)						
1 つかむ 5分	<p>移住をし、専業農家として今後その土地で一生暮らしていこうと考えている人がいます。場所の候補として、沖縄県と岐阜県（海津市）と北海道を考えています。</p> <p>その人が3つの場所の中から納得して移住する場所を選ぶことができるように、気候や地形と暮らし、観光，農業の点から、ガイドを作っておすすめしましょう。</p> <p>ただし、おすすめガイドの紙面に限りがあるので、暮らし，観光，農業それぞれ2つまでを書いておすすめしましょう。</p>								
2 さぐる 10分	<p>T：今日は、北海道について暮らしのガイドを作っていきます。北海道の旭川市の気候や地形にはどんなメリットやデメリットがありますか？</p> <p>C：平均気温を見ると、零度以下になる月が4か月もあります。</p> <p>C：真冬には零下20度以下になる日もあります。</p> <p>C：夏は涼しく、梅雨もありません。</p> <p>C：広大な土地が広がっています。</p>	<p>・旭川市の気候と地形について雨温図や教科書などから家庭学習で調べさせておく。</p> <p>☆旭川市の気候の特徴について発表させ、全員が共有できるようにする。</p> <p>☆沖縄県や岐阜県の学習と関連付けたり、比較したりして考えることができるように掲示しておく。</p>							
3 ねりあう	<p>T：グループで、自分が調べたことや分かったことを伝え合い、それぞれの観点について取り上げるものを1つにしぼりましょう。</p> <table border="1" data-bbox="220 1594 786 1955"> <tr> <td data-bbox="220 1594 331 1691">暮らし</td> <td data-bbox="331 1594 786 1691"> <ul style="list-style-type: none"> ・雪を解かすロードヒーティングを備えた道路 ・寒さを防ぐ工夫をした家づくり </td> </tr> <tr> <td data-bbox="220 1691 331 1821">観光</td> <td data-bbox="331 1691 786 1821"> <ul style="list-style-type: none"> ・除雪した雪を使った雪像を飾る冬まつりのイベント ・雪や寒さを生かした工夫のある旭山動物園 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="220 1821 331 1955">農業</td> <td data-bbox="331 1821 786 1955"> <ul style="list-style-type: none"> ・夏の涼しくて湿度が低い気候のため、農作物に害虫や病気が発生しにくい。 ・農薬量の少ない農作物 </td> </tr> </table> <p>T：グループのおすすめガイドについて発表しましょう。お互いのおすすめガイドを</p>	暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・雪を解かすロードヒーティングを備えた道路 ・寒さを防ぐ工夫をした家づくり 	観光	<ul style="list-style-type: none"> ・除雪した雪を使った雪像を飾る冬まつりのイベント ・雪や寒さを生かした工夫のある旭山動物園 	農業	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の涼しくて湿度が低い気候のため、農作物に害虫や病気が発生しにくい。 ・農薬量の少ない農作物 	<p>・暮らし，観光，農業の3つの観点についてそれぞれが調べたことを話し合わせる。</p> <p>・気候と産業，暮らしの工夫や努力などを関連付けて考えを書いている児童を評価し、価値づける。</p>	<p>・3つの観点のうち、本時はどのことについて話し合いをして</p>
暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・雪を解かすロードヒーティングを備えた道路 ・寒さを防ぐ工夫をした家づくり 								
観光	<ul style="list-style-type: none"> ・除雪した雪を使った雪像を飾る冬まつりのイベント ・雪や寒さを生かした工夫のある旭山動物園 								
農業	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の涼しくて湿度が低い気候のため、農作物に害虫や病気が発生しにくい。 ・農薬量の少ない農作物 								

24分	<p>比較し合い、どの内容をおすすめガイドに取り上げるべきかを話し合いました。</p> <p>C：冬まつりは絶対おすすめガイドに載せた方がいいと思います。理由は旭川市ならではの観光だからです。</p> <p>C：雪が多く降ることって暮らすには大変なことですよ。その道路や家の周りにある雪を除雪し、その雪を利用する工夫をした観光なので、おすすめしたいと思いました。</p>	<p>いくかを決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうしてその内容がいたと考えたのかを話し合わせ、どの内容をおすすめガイドに取り上げるべきかについて意見を交流させる。 	
4 まとめ 6分	<p>T：自分はどれをおすすめするかを1つ選び、ノートに書いてまとめましょう。</p> <p>C：北海道をおすすめします。神石高原町も零度以下になるときもあり、雪も降りますが、北海道は平均が-10度なので、かなり寒いことが分かります。そのため雪が多く、スキーやスケートなどを楽しむことができます。</p> <p>T：次の時間は3つの地域についてどこがおすすめかを話し合いました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パフォーマンスの評価基準を示し、特色ある気候や地形を生かして工夫したり、努力したりしていることまで書くことできることを目指させる。 ・時間があれば参観者の先生方への事例を取り上げると良いと考えたかななどの評価をしていただく。 	<p>社会的な思考・判断・表現 かんがえ力</p> <p>A：北海道の特色ある気候と産業、暮らしの工夫や努力などを関連付けて考え、表現している。(ノート)</p> <p>B：北海道の特色ある気候と産業、暮らしについて考えを書いている。(ノート)</p>

(4) 板書計画

住むならどこに？暮らしのおすすめガイドを作ろう！

課題 北海道のおすすめガイドにはどのようなことを書くとよいだろう。

移住をし、専業農家として今後その土地で一生暮らしていこうと考えている人がいます。場所の候補として、沖縄県と岐阜県(海津市)と北海道(旭川市)を考えています。

その人が3つの場所の中から納得して移住する場所を選ぶことができるように、気候や地形と暮らし、観光、農業の点から、ガイドを作っておすすめしましょう。ただし、おすすめガイドの紙面に限りがあるので、暮らし、観光、農業それぞれ2つまでを書いておすすめしましょう。

暮らし

ロードヒーティング

・雪を解かす

家づくりの工夫

・寒さを防ぐ

観光

冬まつり

・雪や寒さを生かしている。

旭山動物園

雨温図

- ・零度以下になる月が4か月
- ・真冬には零下20度以下になる
- ・夏は涼しく、梅雨もない

地図

- ・広大な土地

農業

農業がやりやすい環境

安全な農作物

- ・涼しくて湿度が低い気候
- ・農作物に害虫や病気が発生しにくい。農薬量が少なく済む。